

道徳のひろば ③

道徳的価値「きまり：マナーを守る！」

本校の学校教育目標の1つ『豊かで』の具体的実践の方策として「玄関の靴」「教室のロッカー」「タオル、帽子掛け」「机上や机の周りの環境」「トイレのスリッパ」「雑巾干し」「牛乳パック」「掃除」「整列」など、あたり前のことは全員が徹底してやろうと「凡事徹底」を合い言葉に気をつけて生活しています。

子ども達の中には、きまりやマナーがあたり前に守れる子、守ろうと意識している子、あまり守れない子どももいますが、全員が努力すればできるということを体得できるように取り組んでいきたいと考えています。

家庭生活の中にも同様なことがあると思いますので、家庭教育（しつけ）の一環として注意してください。



整理・整頓の意識と実践



1年生：生活科学習出発の整列！



掃除



23日(月)の児童朝会で、月目標「きまりを守る」具体には「廊下を走らない」が守れない人がいたので注意しました。「道徳の時間には、きまり・マナーを守るなど、たくさんのことを学んでいますが、実際の生活や社会の中で活かすことが大事です。今月は『廊下を走らない。』という具体的な目標が守れない人がいます。子どもだから真っ直ぐの廊下を見ると走りたくなるのも分かります。階段は跳びたくなるのも分かります。ですが、大切なきまりを守らず個人的で勝手な行動をとり、自由を優先するとケガや大きな事故に繋がります。時や場に応じて、行動や気持ちを抑えたり（制御）する力が大切です。」と話しました。成長するに従ってわがままを少なくし、自らをコントロールする力をつけなくてはなりません。思春期になって好き勝手にされれば親は困ります。現在、国をあげて道徳教育の改革が本格的にスタートし、道徳の教科化がより現実的になり、本校も30年度から始まる「特別の教科道徳」の実施に向けた研究を、28・29年度県の研究指定校として取り組んでいるところです。その実践として、ここ数年、上記の写真に掲げていることなどと呼ばかけ意識して生活しているところです。